

病害虫発生予察情報

6月月報

令和5年7月19日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2023 年6月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	25.7	0.1	17.0	0.5	21.1	0.4	290.0	647	40.7	78
中旬	27.3	1.1	19.7	1.5	23.0	1.3	39.5	58	47.6	121
下旬	28.9	1.8	20.5	0.9	24.2	1.3	12.5	23	35.3	115
平均	27.3	1.0	19.1	1.0	22.8	1.0				
合計							342.0	205	123.6	100

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多く、特に1日～3日は前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み大雨となった。関東甲信地方は6月8日ごろ梅雨入りしたと見られる（速報値）。

中旬：前半は前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多くなったが、後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

下旬：高気圧に覆われて晴れる日もあったが、前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

田植えは6月中旬頃にほぼ終了し、生育は順調であった。

(2) 野菜

果 菜 類：露地トマトの収穫が始まった。キュウリでは曲がり果等の発生が多かった。トウモロコシの生育は順調であった。

葉根菜類：全般的に生育は順調であった。

イ モ 類：ジャガイモの収穫期に入り、例年よりやや早かった。サトイモは生育が順調であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土・露地)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通りであった。巨峰および安芸クイーンで開花始・盛期は平年より4～5日早かった。高尾で

開花始・盛期は平年より2～3日早かった。

巨 峰：開花始5月22日（－5日）、開花盛5月26日（－4日）

安芸クイーン：開花始5月22日（－5日）、開花盛5月26日（－4日）

高 尾：開花始5月22日（－3日）、開花盛5月26日（－2日）

（4）茶樹

例年より生育は順調で、農薬散布により病害虫も抑えられていた。

3 病害虫の発生概況

（1）イネの病害虫

いもち病（苗）	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
イネミズゾウムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

（2）果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや多かった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は少なかった。
クサギカメムシ	< 少 >	予察灯及びフェロモントラップへの誘殺数は少なかった。

（3）茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	フェロモントラップへの誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯への誘殺数は少なかった。

（4）野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
----	-------	-----------

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 並 >	発生は平年並であった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 多 >	発生は多かった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナス		
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 並 >	巡回調査での発生及びフェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
ネギ		
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	< やや多 >	発生はやや多かった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	巡回調査での発生は少なく、フェロモントラップへの誘殺数は平年並であった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 花きの病害虫		
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
(6) 島しょの病害虫		
島しょ地域では多発生の病害虫は認められなかった。		

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。